

白色のセルに数値・内容を入力してください。色付きのセルには触らないでください。

【御代田町】校務DX計画

2025年3月

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	※留意事項
共通項目	FAX・押印の原則廃止に取り組んだ学校の割合	0%	33%	100%			・クラウドツールの未活用やFAXでのやり取り・押印の見直し、不合理な手入力作業の一掃については、校務の効率化・ペーパーレス化の大きな阻害要因になっているものであることに十分留意すること。
	不合理な手入力作業の一掃に取り組んだ学校の割合	100%					
	クラウド環境を活用した校務DXの徹底に取り組んだ学校の割合	100%					
選択項目	7.学校説明会や保護者面談などにオンライン形式を取り入れている学校の割合	33%	66%	100%			・自治体として力を入れたい内容をリストから選択する。 ・選択肢はGIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリストの34項目より作成。自己点検の結果等を踏まえつつ、教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題を選択する。
	11.児童生徒への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計している学校の割合	66%	100%				
	27.学校から教職員に紙で提出を求めている書類をなくしている学校の割合	66%	100%				
課題と解決策の具体	教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題	・現在、各学校にICTリーダー教職員を配置し、教育委員会職員と協力しながら校内のICTの利活用を進めているところである。しかし、教職員の業務は常に多忙なことや、教育DXの推進には専門的な知識が必要なことから外部機関への一部業務委託が必要と考える。					
	教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題の解決策	・外部機関へ業務を委託し、「ICT活用指導力向上に向けた研修会の実施」、「教育DXに向けたシステムの構築」等を行うことで、教職員全体のICT活用スキルの向上や教育DXの推進体制を構築していく。					
	校務系ネットワーク・システム等の現状分析や、望ましい校務の在り方に関する検討の計画	・ネットワーク関係の機器やシステムは、年々性能の向上や内容が変化しているため、5年を目途に機器やシステムの入替えを検討していく。					

※この計画は「公立学校情報機器整備事業に係る各種計画の策定要領」の14ページを参考に作成。